

受け答え例 児童・生徒との距離を適切に保った受け答え

相手のSOSを受け止め、相手の心を傷つけないよう配慮しながら、相手との距離を最適に保てる答え方について、校内研修で提案された主なものを紹介します。

学校現場においては、個別の状況に応じた適切な判断をする必要があります。本資料に記載された内容は、受け答えの選択肢の一つとして参考にしてください。

「先生、勉強わからないところがあるので部活の後で教えてください。」

- **学びに対して意欲的な姿勢をまずは褒める**
 - ・「積極的に勉強に取り組んでいるね。」
 - ・「理解しようという姿勢が素晴らしい。」
- **ほかの方法で教えることを伝える**
 - ・「部活の後だと遅くなるから、明日休み時間に職員室で教えるね。」
 - ・「授業が終わったら、廊下の勉強コーナーで教えるよ。」
 - ・「他の生徒も一緒にやろう。〇〇さんも呼ぼう。」
 - ・「わからないところを紙に書いて提出してください。書き込みをして明日返却しますよ。」
 - ・「学校指定のグループウェアで質問してもらえれば、回答するよ。」

「先生、成績が上がったら頭を撫でてください。」

- **拒否する、理由を説明する**
 - ・「教員が生徒に触れることはいけないことなのでできませんよ。」
 - ・「教員だからそれはできないよ。家族に撫でてもらってね。」
- **ほかの方法で褒めることを伝える**
 - ・「代わりに大きな声で褒めるよ。」
 - ・「心から拍手しますね。」
 - ・「一緒にガッツポーズしよう。」
 - ・「言葉でいっぱい褒めるよ。頑張ってるね。」

「先生にしか言えない悩みがあります。すごく困っています。」

学校だと先生がすごく忙しそうだから…。連絡先を教えてくださいませんか。」

- **個人の連絡先を教えることはできないことを伝える**
 - ・「個人の連絡先は教えてはいけないことになっているんだ。」
 - ・「個人情報には教えられません。」
- **ほかの方法できちんと相談に乗ることを伝える**
 - ・「悩みを相談しようと思ってくれてありがとう。」
 - ・「心配しないで。学校で直接話を聞く時間を作るよ。ほかの先生に同席してもらってもいいかな。」
 - ・「学校指定のグループウェアで相談ができるよ。」

「先生の脇腹を突っついちゃおう。」(ツンツン)

- **拒否する、理由を説明する**
 - ・「やめなさい。」
 - ・「それは駄目だよ。セクハラだよ。」
 - ・「他人の体に触れるのは良くないよ。お互いに禁止です。」
 - ・「相手が不快に感じることもあるから、やらないようにしましょうね。」
 - ・「家族以外と接するときのパーソナルスペースを理解しよう。」
 - ・「先生と生徒は友達同士ではないのだから、先生に対してそういうことはしないでほしい。」
- **ほかの方法を伝える、尋ねる**
 - ・「急に触れるのではなくて声をかけてください。」
 - ・「何か話したいことがありましたか。」

「先生～！」(遠くから近づいてきて体当たり)

- **拒否する、理由を説明する、回避する**
 - ・「やめなさい。」
 - ・「危ない。怪我をしたらどうする。」
 - ・「親しみを込めてぶつかってきたのかもしれませんが、もし私がハサミなどを持っていたら、大怪我をさせてしまうところでしたよ。二度とふいにぶつかることはやめてくださいね。」
 - ・「痛いよ。先生は腰痛なんだ。足を痛めているんだ。やめてほしい。」
 - ・無言でかわす。
 - ・触れないように腕を外側にする。
- **ほかの方法を伝える**
 - ・「急に触れるのではなくて声をかけてください。」
 - ・「何か話したいことがありましたか。」

「先生、家族と喧嘩していて、どうしても家帰りたくないんです。」

- **話を聞く、安心させる**
 - ・「話してくれてありがとう。家の人でも心配するから、〇〇時までなら話聞くよ。」
 - ・「他の先生も今呼んでくるから、何があったか教えて。」
 - **帰るように促す**
 - ・「家族は心配するよ。家に帰りづらければ先生が家に電話してあげるよ。」
 - ・「早めに仲直りするのいいですよ。家族とよく話をしなさい。」
 - ・「気持ちはわかるけれど、学校には泊まれないよ。帰りなさい。」
- ※生命の危険な状況等で児童生徒の安全確保が必要な場合には、専門機関へつなぐなどの対応。

(スマホのSNSアプリに突然ダイレクトメッセージが届く)「〇〇先生のアカウントですよ。〇組の〇〇です。突然すみません。相談したいことがあって…」

- **SNS での私的な連絡はできないことを伝える、無視する**
 - ・「SNS で生徒と連絡を取り合うことは禁止されているんだ。」(翌日学校で伝える)
 - ・無視する。返信しない。ブロックする。アカウントに鍵をかける。
 - ・SNS アプリ上では返信せずに、学年主任や管理職に相談する。
- **ほかの方法できちんと相談に乗ることを学校で伝える**
 - ・「ちゃんと顔を見て話しをしよう。」
 - ・(ダイレクトメッセージのことには触れず)「最近悩みや先生に話したいことはない?」

「先生……………」(事情はわからないが、面談中に突然泣き出す)

- **気持ちを落ち着かせる、話を聞く体制を提案する**
 - ・(距離を保ったまま)「落ち着くまで待つよ。その後話を聞くよ。」
 - ・(距離を保ったまま)ティッシュを渡す。
 - ・「少しの間、保健室で気持ちを落ち着けよう。養護教諭にも聞いてもらおう。」
 - ・「ほかの先生と一緒に話を聞くよ。」

「先生…！」(悩みの相談中になだめていたところ、急に抱きつかれる)

- **すぐに距離をとる、拒否する**
 - ・「落ち着こう。」(と言いながら、距離を確保)
 - ・(何も言わず)すぐに距離を取る。ほかの教員を呼ぶ。
 - ・「そういうことをするなら話は聞けません。」
 - ・「やめてください。それは駄目です。」
 - ・「申し訳ないけれど、もう少し冷静になってください。このような状態では相談は続けられません。」
 - ・「ボディタッチやハグは禁止されていますからやめてください。」
 - ・「おいおい、それはだめだよ。相手の気持ちを考えないと。ところでどうした。」
 - ・「辛いんだね、でも勝手に抱きつくのはいけないね。」
 - ・「これ以上は二人では話せないの、他の先生を呼びますね。」
- ※そもそも、このような状況を作らない環境で対応する
- ・悩みの相談は一人で対応しない。
 - ・オープンな場所で相談を聞く。
 - ・机を挟み、距離を保った状態で話を聞く。